

家の外に、もうひとつの“物語”を

DESIGNBOOK

ネクステリアデザインブック

NEX+ERIOR

代表取締役

飯島 翔

Sho Iijima

NEXTERIOR 本部

株式会社フジホーム代表取締役

お客様も職人も

三方良しの新しい外構を

外構工事の世界に魅せられて、気づけば 15 年の歳月が経ちました。現場での経験を積み重ねる中で、空間づくりの奥深さや楽しさを改めて実感しています。

これまでに培ってきた感性や技術を活かし、日本中、そして世界へと新たな価値を届けていきたい——そんな想いから「NEXTERIOR」という新しい外構の形を立ち上げました。

NEXTERIOR とは

私たちが目指すのは、暮らしに彩りと豊かさをもたらす外構デザインです。

四季の移ろいを感じ、家族や仲間とのかけがえのない時間が育まれる、そんな空間づくりを大切にしています。

「NEXTERIOR」は、こうした想いをかたちにするために生まれた新しい外構ブランドです。柔軟な発想とチャレンジ精神を持って、これからも外構の可能性を広げてまいります。

このデザインブックは、「外構はなんとなく難しそう」「イメージしづらい」というお客様のお声にお応えするためにご用意しました。多彩なデザイン例をご覧いただきながら、理想の住まいにふさわしい外構のイメージづくりにぜひお役立てください。

お客様それぞれのライフスタイルや価値観に寄り添い、心から満足いただける空間づくりをお手伝いできれば幸いです。理想のガーデンライフを一緒に探しましょう。





NEXTERIOR 専属デザイナー

羽生田 新悟

Shingo Hanyuda

デザイナー歴 25 年

受賞歴 50（日本一は 3 度）

デザインのテーマは 暮らしをデザインすること

お客様と向き合い、思いを感じとることで、五感を越えた数々のインスピレーションが無限に広がるイメージと共に、創造力と融合されデザインが湧き出します。

私の好きな言葉で「住まいづくりは幸せづくり」という言葉があります。

心地良い時を感じるような、暮らしの空間を提案し、具現化していくことも大きな使命です。

経歴

- ・幼少期より重度の気管支喘息に悩まされ、特別支援学校での生活を送る。
- ・高校中退後、荒れた生活を経て自衛隊に入隊。
規律ある生活の中で数々の賞を受賞し、任期満了で退職。
- ・プロキックボクサーとして後楽園ホールでデビュー。
- ・花屋勤務中に過労運転で事故に遭い、その後造園業界へ転身。
- ・労災事故により 11 級の後遺障害を負うも、ガーデンデザインの本と出会い、独学でデザイナーとして再起。
- ・10 年後、全国ガーデンデザインコンテストで日本一を獲得。
その後も多数の受賞歴を持つ。

受賞歴

全国デザインコンテスト受賞歴 14 年間 50 回の受賞

- ・タカショー庭空間施工例コンテスト 銀賞（2024）
- ・オンリーワン全国デザインコンテスト 通算 28 回受賞
- ・同コンテスト トリプル受賞（2022）／最優秀賞 全国 1 位
（2017・2013）
- ・NIKKO フォトコンペ 最優秀賞・優秀賞（2017 ほか）
- ・メイクランド／リクシル／三協アルミ他、全国コンテストで多数受賞

Style

01

シンプルモダンスタイル

Simple Modern Style



Minimalist-Inspired Outdoor Living

無駄を削ぎ落とした 美しい暮らしの入口

直線的なフォルムと落ち着いたカラーで構成されたこのシンプルモダン外構は、建物との一体感を追求しながらも、存在感ある佇まいを演出しています。

余計な装飾を排除し、素材の質感やラインの美しさに魅せるデザインが特徴です。

照明デザインもプラスすれば、夜間も美しい外観を維持します。暮らしの中に溶け込む、上質で控えめなデザイン。それが、シンプルモダンという選択です。



無駄を削ぎ落としたミニマルな空間に、風格ある石調のアプローチが奥行きを与え、厳選されたシンボルツリーが自然の潤いと生命感を添えます。

シンボルツリー

凛とした佇まいが
魅力のアオダモ

白い斑模様美しい幹と、繊細に広がる枝葉が印象的なアオダモ。シンプルモダンな住宅にも自然に溶け込み、外構に上品なアクセントを添えるシンボルツリーとして人気です。



間接照明

光で形を描き
夜に奥行きを与える

シンプルな構成ほど、ライティングの役割は重要になります。壁の下部やアプローチ沿いに仕込んだ間接照明が、昼間には見せない陰影と立体感を演出。夜の顔が美しい外構は、それだけで「上質」を物語ります。



タイル / 石

直線が魅せる
洗練された質感

シャープなラインと落ち着いた色味が、住まいの美しさを際立たせるタイル・石材。モダン建築と調和しながらも、素材の重厚感と陰影が上質な印象を与えます。アプローチや外壁のアクセントに最適です。



Style
02

モダン禅スタイル
Modern Zen Style



Zen Meets Modern Minimalism

洗練と余白が響き合い 静寂が花開く庭空間

現代の暮らしに癒しをもたらすモダン禅スタイルは「整ったライン」と「自然な余白」の対話から生まれます。

白砂の洗練された直線、緑をそっと彩る苔と木々、そして静かに響く水のしずく。これらが幾何学的配置と響き合い、視線を誘う“呼吸する外構”を奏でます。

素材は石と木、砂利と緑そのすべてに「目的」があり、すべてが「余白を活かすため」にある。

そのため、ひとたび庭に足を踏み入れば、心は自然と静まり、自分と向き合う時間が始まります。訪れる人一人ひとりが、自分だけの“静の軌跡”を歩む、それが、この庭の本質です。無駄をそぎ落とした中にこそ、洗練と心地よさが共存する新しい禅の姿です。



自然石を敷き詰めたアプローチとウッドデッキが温かみを添え、柔らかな植栽と灯りが静けさと安らぎを演出します。石積みのベンチや整えられた樹木が空間にリズムを与え、現代住宅と調和する上質な庭構えを形づくりします。

ごろた石

庭に流れる時間を
穏やかにする石の存在感

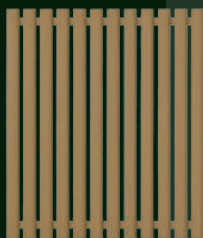
一つひとつ表情の違う自然石が、庭に落ち着きと安定感をもたらします。人の手では作れない有機的な形が、空間にリズムを与え、見る人の心を穏やかに。アクセントとして庭全体の印象を引き締めます。



格子フェンス

庭を守り光と風を招く
心地よい境界

外からの視線を適度に遮り、プライベートな安心感を演出。圧迫感のないスリットは、光と風を優しく庭へ届けます。リズムカルな光と影が空間に奥行きと表情を与え、心地よい「間」をつくります。



シンボルツリー

日々の暮らしに、季節の
彩りと安らぎを添える

住まいの中心で、季節の移ろいを豊かに感じさせてくれる一本。心地よい木陰や葉擦れの音が、日々の暮らしに安らぎを与えます。家族と共に成長し、長く暮らしに寄り添う、かけがえのないパートナーです。



Style

03

アウトドアリビングガーデンスタイル

Outdoor Living Garden Style



NEXT-ERIOR

Extended Living, Under the Sky

お庭は もうひとつのリビング

眺めるだけの庭から、“過ごせる庭”へ。

家の外に広がる外部空間が、暮らしに新たな快適さと癒しをもたらします。

ソファやリクライニングチェア、テーブルなど、その空間に最適なファニチャーを設置します。

それにより滞在時間が自然と伸び、庭はくつろぎの場へと変わります。外というもうひとつの領域の中で、心地よい暮らしの可能性を広げてみませんか？



アウトドアソファ

家の中と同じくつろぎを外にも

クッションは撥水性のファブリックを採用し、雨夕や汚れにも強い。背もたれが低めのロータイプなら、視線が抜けやすく狭小スペースでも開放感をキープできます。リビングのソファと同じ感覚で、外でも家族団らんや友人との会話を楽しむためのマストアイテムです。



パラソル

異国の風を感じる非日常の演出

開放感のある空間に、リゾートの風を添えるガーデンパラソル。日差しをやわらげながら、庭先に非日常の演出をもたらします。テラスやウッドデッキに設置すれば、まるで海外のカフェのような上質なひとときを演出できます。



Style
04

ナチュラルテイスト Natural Style



Nature-Inspired Outdoor Living

植物とともに呼吸する 心ほどける庭時間

自然と暮らす、という贅沢。

ナチュラルテイストの外構は、自然素材の温もりと植栽の柔らかな表情を通して、住まいに「癒し」と「やすらぎ」をもたらします。息づく草花や季節を映す葉の色が、時間の流れとともに美しく変化し、日々の暮らしに穏やかなリズムを刻んでくれます。

植物と調和した外構は、呼吸するように暮らしと馴染み、季節の移ろいを感じさせながら、心を整えてくれる存在になります。

ナチュラルテイストは、自然と暮らしの境界線をほどこ、“帰りたくなる場所”をそとつくり出してくれます。



鉢植え

動かせる彩りで
季節を迎える

ナチュラルガーデンでは、地植えだけでなく鉢植えの植物もアクセントとして効果的です。鉢ごとに季節の草花やハーブを配置することで、彩りを調整しやすく、玄関まわりやアプローチに動きと変化を与えます。素材や形状で個性も演出可能です。



アイアンアーチ

視線と空間にリズムを
ガーデンのアクセント

つる植物と共に季節を纏うアイアンアーチは、ナチュラルテイストの庭に奥行きと物語性を添えます。シンボルツリーや小道の先に設けることで、空間の“つながり”や“期待感”を演出でき、視覚的なアクセントとしても優秀です。



人工枕木コンクリート

木のぬくもりを、
コンクリートの強さで

天然木の風合いを忠実に再現した人工枕木コンクリートは、腐食やシロアリ被害の心配がなく、メンテナンスフリーで安心。ナチュラルな景観と高い耐久性を両立し、アプローチや花壇まわりに最適です。時を重ねても美しさが続きます。



Style

05

シャビッシュスタイル Shabby Chic Style



Vintage-Inspired Outdoor Living

優しい風合いが紡ぐ 懐かしさと可憐さのある庭

シャビィなアイテムを随所に取り入れ、まるでフランスの田舎町に佇むカフェのような、どこか懐かしくて優しい空間を演出。

長年使い込まれたような風合いと、アンティーク感のある素材が、日常に穏やかな時間と品のあるレトロな魅力をもたらします。

「新しいのに、どこか懐かしい」そんな心地よさを求める方にぴったりのエクステリアスタイルです。



時を重ねた雑貨と植物が調和する、温もりあるレトロガーデン。
白い木製フェンスやヴィンテージアイテムが、まるで絵本の中のような優しい庭時間を演出します。



アンティークレンガ

時間を重ねた風合いが
庭に深みを加える



シャビィシックスタイルに欠かせないのが、使い込まれた風合いのアンティークレンガ。あえて色ムラや欠けを残したレンガは、ナチュラルな植栽と調和し、庭全体を落ち着いたトーンにまとめてくれます。花壇やアプローチ、門柱の一部に取り入れることで、控えめながらも印象に残るアクセントになります。

ウッドゲート

迎える気配を感じさせる
木のぬくもり



ナチュラルでシャビィな雰囲気を引き立てる、木製の門扉。少し褪せたようなペイントや、アンティーク風のアイアン金具が付いたデザインは、まるでカントリーサイドの一軒家のような“温かな佇まい”を演出します。エントランスの印象を優しく和らげながら、住まいの世界観を引き立てます。

Style

06

ヨーロッパスタイル European Style



European-Style Outdoor Living

暮らしに気品を添える 欧風ガーデンの美学

地中海の別荘を思わせるような庭へようこそ。

天然石の舗装、クラシックな噴水、優雅なヤシの木が織りなすヨーロッパスタイルの外構は、上質な寛ぎと洗練された雰囲気演出します。

見た目の美しさだけでなく、暮らしの質そのものを高めてくれる空間です。



コッツウォルド地方の風景をイメージした欧風外構。アンティコセツの石畳が温かみのある表情を演出し、門扉や植栽と調和した上質なアプローチ空間に仕上げています。



アンティコ・セツツ

時を重ねた風合いを
楽しむ石畳

アンティークな石畳の趣きを再現した舗装材です。自然な色幅と優しい質感が、空間に温もりと品格を添えます。経年変化とともに風合いが深まり、ヨーロッパの街並みを思わせる豊かな景観を演出します。



見た目の美しさと家族やゲストと過ごす時間までも上質に演出。
非日常を感じる風景が、住まいに優雅なリゾート感をもたらします。

ヤシの木

優雅さと開放感を宿す
南欧の象徴



ヨーロッパの南部、地中海沿岸の別荘地を思わせる雰囲気をつくるなら、ヤシの木は欠かせない存在。シンボルツリーとして植えるだけで、一気に非日常の空気を漂わせ、優雅で開放的な印象を与えます。石張りやテラスとの相性も良く、日差しを受ける姿も美しい一本です。

Style

07

リゾートガーデンスタイル Resort Garden Style



Resort-Inspired Outdoor Living

癒しと贅沢が調和する 日常を忘れる庭

非日常を日常へ。

心地よい風が通り抜け、静かに波打つプールの水面が、あわただしい日々をそっと包み込む。

南国のヤシに囲まれたこの空間は、まるでリゾートホテルの一室のよう。

リクライニングチェアに身をゆだねれば、そこは自宅でありながら極上のリトリート。

自然と調和する、もうひとつの暮らしのステージ。
それが、私たちが提案するリゾートガーデンです。



日常を離れたリゾートの癒やしをもたらすガーデンスタイル。

鮮やかな色彩と自然素材、水辺の景観が調和しやすらぎのひとつを演出します。



トロピカルプランツ

異国の風を感じる
非日常の演出



リゾートガーデンに欠かせないのが、ココスヤシやフェニックスロベレニー、ニューサイランなどのトロピカルプランツ。大ぶりで存在感のある葉が、日常空間に“旅先の空気”を運び込んでくれます。植えるだけで景色が変わる、強力なリゾート演出アイテムです。

ウォーターガーデン

光と水が織りなす
静かなオアシス



水のせせらぎは、空間の温度を和らげ、心に静けさを与えてくれます。シンプルな水鉢やモダンなファウンテンなど、小さな水の要素でも十分にリゾート感を演出可能。視覚と聴覚に働きかけ、庭の一角に“深呼吸できる場所”をつくります。

Style

08

和風庭園

Japanese Garden



Japanese-Style Outdoor Living

暮らしに静寂と品格を添える 和風庭園の美学

茅葺き門の先に広がる、心静まる和の庭。

かすかな風の音、石を伝う水の響き、柔らかな緑の揺らめき。茅葺き屋根の門をくぐれば、そこはまるで時がゆるやかにほのぼのするような別世界。

飛石が導く先には、蹲（つくばい）から静かに水がしたたり、苔むす庭石の合間に石灯籠がそっと佇む。竹垣に囲まれた庭のしつらえは、数寄屋造りの精神を現代に受け継ぎながら、“和の美意識”を日常に溶け込ませる空間を演出しています。

春は芽吹き、夏は青々と、秋は紅葉、冬は静寂。四季折々に姿を変えるこの庭は、ただ眺めるだけでなく、心を整え、暮らしに深い呼吸をもたらししてくれる。和を感じ、和に癒される。そんなひとときを、現代の暮らしの中に一



枯山水を思わせる白砂のアプローチと、風にそよぐ竹垣が調和する中庭空間。足元には飛石、囲むように植えられた常緑樹と季節の草花が、静かに訪れる人を迎え入れます。庭にしながら、心は旅をする——そんな感覚をもたらす和の庭は、暮らしの中に“凜”とした時間を添えてくれます。



松の木

構造美と象徴性を兼ね 備えた庭の主役

和風庭園における松は“常緑”であり、四季を通じて安定感と格式をもたらす象徴的な存在。剪定によって枝ぶりをコントロールし、空間に奥行きや立体感を演出できます。主木として玄関前や庭の正面に一本据えることで、景としての重みと品位を生み出します。



灯籠

静寂の中に光を宿す、 和のアクセント

灯籠は古来より“祈り”や“道しるべ”の象徴として用いられてきた日本庭園の代表的部材。景観の焦点となる場所や蹲のそばに設置することで場の重心を取り、空間に“和の物語”を添えます。石材の質感や苔の付き具合まで計算することで、時間の経過も味として取り込めます。

NEX+ERIOR

www.nexterior.co



SNS



YOUTUBE



instagram



TIKTOK



X (Twitter)



LINE公式



WEBサイト

CONTACT ☎ 03-6231-3177

〒125-0052 東京都葛飾区柴又3-1-1 ✉ fujihome@nexterior.co

宅建業:国土交通大臣(1)第10219号 建設業:国土交通大臣許可(般-6)第29329号